

APNIC 24 : prop-048-v001

IPv6 ULA-central 割り当て提案について

2007年7月17日

藤崎 智宏



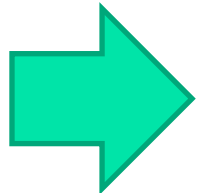
APNIC 24 : prop-048-v001 への意見募集

- APNIC 24に， ULA central の割り当てを実施しようという提案があがっています。
 - 世界各地で， いろいろな意見があがっています。
 - JPコミュニティの皆さんの意見をお聞かせください。



ULA とは

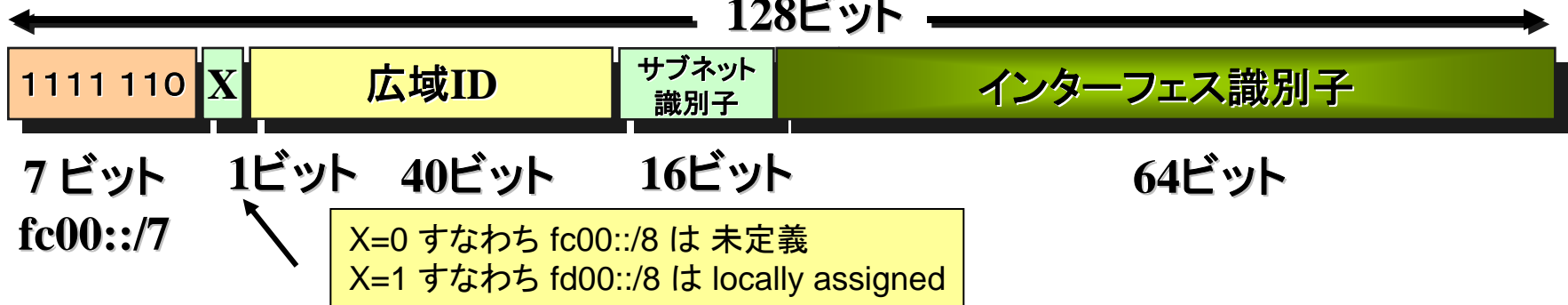
- ULA = Unique Local IPv6 Unicast Address
 - IPv6 における， RFC1918 アドレスのようなもの
 - IPv6標準化当初定義されていたサイトローカルアドレスの置き換えとして定義された
 - サイトローカルアドレスは， RFC3879 にて， 廃止
 - ULAは， 当初， 以下の二種類を平行して検討
 - 1.自由に使えるが， 完全には一意でないアドレス
 - 2.完全な一意性を保証する， 管理されたアドレス



1 が， RFC4193 として， 定義された。

RFC4193 : “Unique Local IPv6 Unicast Addresses” (ULA) , 一意ローカルIPv6ユニキャストアドレス

一意ローカルユニキャストアドレスのフォーマット



- Locally assigned
 - 広域IDをランダムに生成，生成アルゴリズムの指定により，重複の可能性を低減（上記より低い一意性）
 - 無料でいつでも誰でも使用可能（完全な一意性より利便性を採る場合に利用）
- 未定義領域は，当初はCentrally assigned 領域として定義されていた
 - 管理組織による，一意の割り当てを意図
 - 割り当て方法や，条件などが議論になり，Locally assignedの利用状況を見て再検討をしていくことになった。（draft-ietf-ipv6-ula-central）



prop-048-v001 IPv6 ULA-central

提案 prop-048-v001 邦訳（意識のつもり）

- 必要な組織に，ULA-Central を割り当てる提案

提案理由

- 大規模な組織で，内部インフラ用の追加アドレスが必要となることがある。このアドレスブロックは，VPNやサイト間通信などにも使われるため，一意のアドレスを使いたい。

他のRIRでの状況

- 他の地域にも提案中

提案詳細

- ULA Central (FC00::/7) を，/48単位で，ほしい人に配る。
- 料金等は配布組織が決める。
- 大規模なmanaged サイトが利用することを想定
- ULAは，グローバルにはルーティングされないこと，フィルタすべきであることを明記。

提案の利点

- ARINで実装された，“Micro-allocations for Internal Infrastructure” のようなアドレスは必要。これに使える。

提案の欠点

- 大きな問題はなし？

外部状況

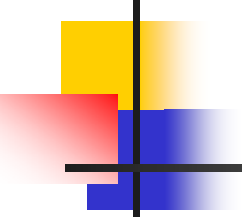
■ その他のRIRでの状況

- ARINではMLで活発な議論は行われているが正式な提案にはなっていない
- RIPEでは2007年5月より2007-05として提出されている。コメント期間が今月終了。IETFとの関係も含めて整理が必要
- LACNICでは2007年4月に提案されているがコンセンサスが得られなかった
- AfriNICでは2007年4月に提出され、議論中

■ 議論の動向（斜め読みですが．．．）

- 賛否両論(6:4か7:3位で必要ない派が多いような気がしてます)
- 既にPIがあるので、ULA-Cの必要性がわからない
- 外部経路にインパクトを与えないこういうアドレスは意味がある
 - 完全にリークを止める手段はないだろうか？
- RIRが配布するとしてオペレーション的に可能なのか？（元々、10EURO程度の one time fee とかを想定）

などなど．．



さて、いかがでしょうか。